

SUPPORTERS

サポーターズ No.152 2018 秋号

一般社団法人 山梨県理学療法士会ホームページ

<http://ypta.jp/>

会員数 895 名 施設数 131 (H30.8.15 現在)

「supporters (サポーターズ)」とは…

我々理学療法士が社会に寄与していく職種であることを思い、『支える人』という意味の supporter に複数形のsを加え、supporters：支える人たち（造語）の意味です。



Change Of Start

～創立50周年に向けて～

一般社団法人 山梨県理学療法士会 会長 小林 伸一

平成30年5月15日(火)の総会におきまして、13名の理事と2名の監事の信任をいただきました。新たに一期2年、より身近に感じられる士会活動や県民の医療・介護等に寄与する活動を念頭に、地に足を着け全うして行きたいと思ひます。

さて、この間士会は法人格を取得し公益団体へ移行、事務局機能を含む組織の見直し、学術面では、県士会・関ブロ・全国学術研修大会等の学会や多岐に渡る研修会を開催し知識・技術の研鑽に努め、公益性にお

いては、県民への寄与と啓発を目的とした公開講座や国体等スポーツ大会への派遣も行ってきました。

一方で「山梨県リハビリ専門職団体協議会」を三士会合同で立ち上げ、5つの委員活動や合同学会、ケアマネとの研修会にも取り組んできました。

昭和46年7月に16名の会員で発足した士会は、諸先輩方が脈々と築き上げてきた土台に若い力が加わり、時代に即した多様な発展を遂げています。そして3年後には創立50周年、若い世代のリーダーの下、新たなスタートを切る時を迎えようとしております。

今期は3年後を見据え、協会・関ブロ・士会の動きが見え易く、より多くの士会員と共に活動できますよう組織の改編を行い、新時代に向けての土台作りの2年間と位置づけて活動していきたいと思ひます。士会員の皆さん、引き続き士会活動へのご支援をお願い申し上げます。

CONTENTS

会長挨拶	1
平成30年度定期総会報告	2
新理事紹介	3～6
「平成30年度山梨県理学療法士会交流会報告」	7
《特集》「平成30年度新人理学療法士・転入会員紹介」	8～12
各部活動報告	12～14

● 公開講座部 ● 学術研修部 ● スポーツPT部	
● 委託講習会部 ● 広報部	
お知らせ	15～16
● 企画研修部 ● 士会学術集会部 ● 事務管理局	
部員募集	17
● スポーツPT部 ● オリ・パラ委員会	
リレーエッセイ Part34	18～19
原稿募集	18 編集後記
	19

平成30年度 一般社団法人 山梨県理学療法士会

定期総会報告



平成30年5月15日(火)に、山梨大学医学部臨床講義棟大講堂にて105名の会員の参加と563の委任状をいただいて、平成30年度の定期総会が開催されました。

今回は現役員(理事・監事)の2年間の任期が満了となり、役員改選を迎えた総会でありました。おかげさまで、役員すべてにつきまして承認を頂き、会長(代表理事)は小林伸一先生、2名の副会長には磯野賢先生と高村浩司先生が、引き続きその役を担っていただくことになりました。

今年度は、ここ数年の我々理学療法士を取り巻く環境変化や、関係各所からの様々な協力依頼への的確な対応を行うため、局・部及び委員会の新規設置や配置換えと、学術、事業、委員会を担当する理事を新たに配置いたしました。

これからも会員の皆様がより活躍できるよう取り組んでまいりますので、今後とも県士会活動にご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

事務管理局 局長 有泉 静佳
(あけぼの医療福祉センター)



平成30～31年度

理事紹介

今年度は改選の年、会長、事務管理局長を含めた13名が信任されました。

そして組織の編成も行われ、新たな部局、士会常設委員会、
山梨県リハビリテーション専門職団体協議会など新設されました。

理事の先生方に担当している部門、局の役割を
「新体制での展望と役割」というテーマで紹介して頂きます。

副会長 兼 学術担当理事

健康科学大学 高村 浩司



山梨県理学療法士会は諸先輩方のご尽力により1971年に設立され47年を迎えます。ちょうど自分自身が生まれた年に設立され、組織の要職を拝命していることに考え深いものがあります。ここ10年の歩みをみますと前会長の谷村先生時代から現会長の小林先生にバトンが渡される移行期は、重要案件であった一般社団法人資格の取得、運営基盤の整備や事務所の開設さらに山梨県リハビリテーション専門職団体協議会設立など多くの変革を推し進めました。今後の展望としましては、日本理学療法士協会の進める様々な事業の橋渡しだけでなく、理学療法士の地位と役割を守り、成長させるための活動をより充実させなければならないと考えます。そのためには、災害対策や地域支援事業、特別支援教育、がんリハ、認知症対策など各種委員会の果たす役割は非常に重要と考えます。士会員も1,000名に近づき顔の見えにくい組織運営が危惧されます。山梨ならではのアットホームな組織運営を継続すべく、士会員皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

事業担当理事

健康科学大学 三科 貴博



この度、山梨県理学療法士会理事を任されまして2期目がスタートします。1期目は福祉厚生局を任せていただきました。今期は事業担当理事ということで社会局(委託事業部、スポーツPT部)、福祉厚生局(地域連携部、医療保険部、介護保険部)、広報局(広報部、会報部)の3局を取りまとめ、適宜事業展開に関して各局長の相談を受けたり、アドバイスをしたり、時には実行要員として現場に飛んだり、会長、副会長間と担当局とのパイプ役を担ったりといった仕事を行っています。

本県士会の会員数も1,000人が目前ということで各事業における会員への告知、参加動向の把握など煩雑化が進み、一方、他職種との連携や新事業の立ち上げなどで各種委員会等が拡大・複雑化しております。今回小林会長のもと、次世代の事業展開を見越した新たな県士会組織が作られました。会員の皆様のご協力と積極的な各事業参加をお願いし、ご理解を賜ればと存じます。



今年度、士会で副会長並びに士会常設委員会の担当をさせていただきます、磯野です。

今回、士会常設委員会では士会支部組織化検討委員会と認知症対策委員会とがんリハ推進委員会を新設いたしました。士会支部組織化検討委員会は、士会員数の増加に対応し、事務局の機能強化と合わせて士会員のネットワーク強化を推進するために設置しました。また、認知症並びにがん患者に対するリハビリテーションは社会的な課題であり、セラピストとして積極的に取り組んでいくべきものと考えますので公的機関と連携を取りながら推進していきたいと思います。

常設委員会は、士会員皆様のためというよりは、皆さんが持っている高いスキルを集結しその力を使いどのようにすればより社会に役立てることができるかということを検討し、実施していくところです。社会から必要とされ続けていくためにも更に活動を活発にしていきたいと思いますので皆様の積極的なご参加をお待ちしています。

山梨県理学療法士会常設委員会・ 山梨県リハビリテーション専門職団体協議会担当理事

石和温泉病院 総合在宅支援室 小林 司



今年度より、新規創設された山梨県理学療法士会常設委員会・山梨県リハビリテーション専門職団体協議会担当理事に任命された石和温泉病院 総合在宅支援室 小林司です。

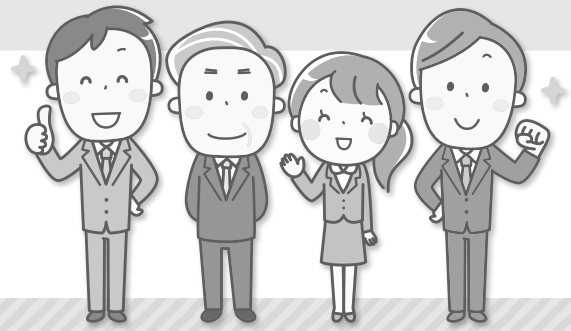
山梨県リハビリテーション専門職団体協議会は山梨県理学療法士会・作業療法士会・言語聴覚士会にて結成された任意の団体になります。山梨県リハビリテーション専門職団体協議会会長を、磯野賢当士会副会長が務めております。磯野会長をサポートしていくことが自分に課せられた仕事と考えています。

委員会は、特別支援教育委員会、災害対策支援委員会、地域支援事業等推進委員会、訪問リハビリ委員会、認知症対策推進委員会、合同学術大会実行委員会、がんリハ推進委員会の7つあります。この各委員会の運営がスムーズに行えるよう各士会との連携を図りながら事務局として活動していきます。





紹介



企画局

私は、平成25年度から企画局を担当させていただいております。今年度当士会は刷新されましたが、当企画局の役割自体は大きく変わってはおりません。ただ、今年度は、時代の流れに沿った、会員・県民の皆さんのニーズに合わせた企画の提供を目指していきたいと考えております。3つの部それぞれ知恵を出し、会員の皆さんの働きやすい環境づくり、県民の皆さんのより良い生活に寄与できる企画提供を目指していきたいと思っております。

企画局長 井村 順治 恵信甲府病院

学術研修局

学術研修局は学術研修部と委託講習会部を担っております。

学術研修部は全国的にもご高名な講師をお招きし、より臨床で活かせる内容を様々な分野に渡り、年4回の研修会を企画しています。委託講習会部は協会より委託される理学療法士講習会（応用編）を当士会副会長の高村浩司先生（健康科学大学）と理事の北山哲也先生（山梨リハビリテーション病院）を講師に年2回開催しております。

学術研修局長 名取 大輔 石和共立病院

生涯学習局

生涯学習システムに関してはシステムの改定などが検討されており、ルールが複雑となっています。認定・専門理学療法士制度などについても最新情報をシンプルにお伝え出来るようホームページなどを活用していきます。また、今年度は協会指定管理者研修会などの開催も予定しております。会員の皆様の声を真摯に受けとめ、個々の知識、技術向上の一助となる企画を熟考していきたいと思っております。

生涯学習局長 北山 哲也 山梨リハビリテーション病院

学術大会局

今年度より新設の当局は士会学術集会部と合同学術大会部の2部になります。前者は今までの学術集会部を引継ぎ、年に1度県単位の学会を開催します。後者は3年に1度、OT・ST士会と共に山梨県リハビリテーション専門職合同学術大会の企画・運営を行います。

県学会は関プロ学会、全国学会への導入の学会として考えています。士会員の成果をまとめる機会を提供出来るよう準備して参ります。ご協力宜しくお願い致します。

学術大会局長 菊池 信 山梨リハビリテーション病院

社会局

委託事業部、スポーツ理学療法部を管轄しておりますが、両部とも“他の団体から依頼された事業・活動等への協力”が共通した活動内容となっています。具体的には、講師派遣、イベントへの協力、スポーツ理学療法の提供などがあります。これらの活動により、社会貢献、啓発活動を行い、理学療法士がより認められる存在になれたらと考えています。そのためにより多くの士会員の協力が得られる体制を整えて行きたいと考えています。

社会局長 古屋 伴仁 韮崎市立病院

福祉厚生局

福祉厚生局は、地域連携部、医療保険部、介護保険部の3部で構成されています。

地域連携部は地域連携に繋がる内容の研修会を年1回開催しています。今年度は、介護保険分野で活躍されている理学療法士に講師を依頼し、地域における理学療法士の役割や実際の仕事の紹介、医療保険分野のスタッフへのメッセージをお伝えいただく予定です。医療保険部、介護保険部では、若い世代を主な対象に、医療・介護報酬に関する基礎的研修会を開催し、制度に関する情報をわかりやすく伝えられるよう努めております。今年度は医療・介護報酬の同時改訂がありましたので、できる限りのトピックスもお伝えする予定です。ホームページなどでは、皆様に最新の情報提供ができるよう情報収集に努めてまいります。

福祉厚生局長 鈴木 聡 湯村温泉病院

広報局

広報局には会報部、広報部があり、会報部では会報誌の発行を通して山梨県理学療法士会の会員の皆様の情報共有の場となり、会員の皆様が繋がりを持てるようになれば良いと思います。広報部では広報活動を通して、県民の皆様に理学療法及び理学療法士の啓発と、健康増進に向けた取り組みが行えればと思います。会員の皆様のご理解、ご協力を頂きながら事業を進めて行きたいと思っております。宜しくお願い申し上げます。

広報局長 大西 正紀 甲州ケアホーム



平成30年度 一般社団法人 山梨県理学療法士会 交流会

平成30年6月8日（金）に、ベルクラシック甲府で平成30年度の交流会が行われました。
当日は32施設から263名（一般会員190名、転入会員9名、新人会員58名、来賓6名）の参加を頂きました。

毎年のことではありますが、ベルクラシックの1フロアをすべて使った会場は壮観であり、当士会のパワーの大きさを感じました。

交流会は、挨拶や理事紹介の後に待ちに待った乾杯が行われ、それからは民族大移動しながら会場各所での交流が行われ、親睦が深められたと思います。

また恒例の施設紹介での趣向を凝らした出し物も親睦に花を添えてくださいました。

最後になりますが、事務管理局の不手際により、多くのご協力を頂いた湯村温泉病院の先生方をはじめ、一部の先生方にご迷惑をかけてしまいました。お詫びするとともに、今後はそのようなことが起こらぬようにいたしますので、次年度も多くの皆様の参加をお待ちしております。

事務管理局 局長 有泉 静佳
(あけぼの医療福祉センター)



各部活動報告

企画局 公開講座部

平成29年度の公開講座を、平成30年2月25日に山梨県立文学館で開催致しました。今回は、元NHK「きょうの健康」キャスターの久田直子さんをお招きし、「健康長寿のために予防が大切！ロコモ・フレイル・認知症を防ぐ生活」をテーマにご講演いただきました。当日は、185名（一般168名、会員17名）と、たくさんの方々にご参加いただきました。

講演内容は運動習慣だけではなく、栄養面や口腔機能の重要性まで、最新のキーワードや知見を交えながら幅広くご講義頂きました。また頭と体を使った課題を同時に行なう「コグニサイズ」をワークとして取り入れて頂き、参加者の皆様も楽しみながら取り組まれており、好評を得られました。同時に実施したロコチェックは、参加者ほぼ全員が希望され、健康や予防に対する意識の高さが伺えました。

最後に、公開講座にご参加いただいた皆様、また、広報活動等今回の企画にご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。



★ 問い合わせ先：企画局公開講座部 上田 修
(恵信梨北リハビリテーション病院 Tel：0551-28-8820)

学術研修局 学術研修部発



山梨県理学療法士会 学術研修局 学術研修部 関 剛人

平成30年6月10日(日)、健康科学大学にて第1回学術研修会が開催されました。講師には森ノ宮医療大学保険医療学部理学療法学科の工藤慎太郎先生をお招きし、「足関節の機能と運動療法」をテーマに講義していただきました。当日は参加人数171名と多くの受講生にご参加いただきました。

講義内容は、冒頭に運動器系理学療法評価の3つのステップとして①力学的ストレスの明確化②解剖学的評価③運動学的評価を結合組織やSSCの特徴を踏まえながら詳しく解説していただきました。実技では、足関節周辺の脂肪体・筋間に対するモビライゼーションやリリース方法を実際にエコーを使用しながら視覚的にわかりやすく講義していただきました。



工藤先生、参加してくださった受講生の皆様のおかげで充実した研修会となりました。ありがとうございました。今後も学術研修部では臨床に生かせる研修会を企画して参りますので、皆様の参加をお待ちしております。

★ 問い合わせ先：学術研修局学術研修部 平賀 篤
(帝京科学大学医療科学部理学療法学科内 Tel：0554-63-4411)

社会局 スポーツPT 部発

□ 山梨での国際テニス大会サポート活動に参加して

学校法人国際医療福祉大学 国際医療福祉大学病院 杉田 裕汰

平成30年7月2-3日の2日間、U-14須玉国際テニス大会のサポートに参加してきました。内容は、試合前後に選手へのテーピングや有痛性障害治療を含むコンディショニング、試合中の傷害における救急対応でした。今回のサポートを通して、試合前後のコンディショニングに力を入れていない選手が多いことに驚きを覚えました。セルフコンディショニングは障害予防の観点からも必要であり、その方法も指導していく必要があると感じました。また、スポーツ障害は多岐に渡りますが、競技特性を理解することで、対応能力が格段に上がることも分かりました。私自身まだまだ経験不足で、試合中うまく対応できず、悔しい思いもしましたが、スポーツ現場の臨場感や即時対応能力の必要性を数多く体験させていただき、大変良い勉強になりました。今回の経験を今後の自分のスキルアップにつなげ、選手のために地元栃木での活動を広めていきたいと改めて感じました。



□ 2018年度 委託講習会部上半期活動報告



7月14日(土)～15日(日)の二日にわたり日本理学療法士協会主催 理学療法士講習会「臨床動作分析(ヒューマンムーブメント)」を健康科学大学リハビリテーションクリニックで開催させていただきました。講師は健康科学大学の高村浩司先生と山梨リハビリテーション病院の北山哲也先生に務めていただき、22名の受講生にご参加いただきました。

最新の知見や研究データをもとに動作分析に必要な知識を学び、実技練習でその知識をどのように応用していくかを練習しました。細かな

動作分析からより良い治療介入を考え、動作の効率性を高めることに受講生、講師、アシスタントで挑戦しました。実践形式の内容が多く、日々の臨床に活かせる講習会となりました。本当にありがとうございました。



★ 問い合わせ先：学術研修局委託講習会部 稲持 裕太
(健康科学大学リハビリテーションクリニック内 TEL 0555-73-2800)

広報局 広報部発

□ 介護予防・健康増進キャンペーン報告

7月17日は「理学療法の日」です。理学療法の日にあわせ、前後一週間くらいで全国一斉に介護予防推進キャンペーンが行われ、当士会も15日(日)にイトーヨーカドー甲府昭和店にてイベントを行いました。今年度も例年と同様に、ロコモ度テストコーナーや介護予防相談コーナーを設け、チ



ラシや当士会で準備したグッズの配布も行いました。会場が大型ショッピングモールということもあり、お子様からご高齢の方まで幅広い方々に

ご参加いただき、楽しみながら健康増進への意識を持っていただくことが出来ました。開催前には毎日新聞、朝日新聞、読売新聞の3誌にイベント情報が掲載され、当日も毎日新聞社が取材に訪れ、当士会の活動が後日掲載されました。

各施設で働いている会員の皆様におかれましても、理学療法士の職域拡大や地位・認知向上に向け、今後も広報活動にご尽力をいただければ幸いです。



★ 問い合わせ先：広報局広報部 中込 亮
(甲州リハビリテーション病院リハビリテーション部 TEL 055-262-3121)



第1回企画研修部研修会の開催のお知らせ

今回講師に、村永信吾先生をお招きし、ご講演いただきます。村永先生は日本理学療法士協会管理部門 運営幹事にも携わっておられます。理学療法士の立場からワークライフバランスについての必要性についてご講演を頂きます。

ご多忙とは存じますが、多くの皆様にご参加いただけますようご案内申し上げます。

- 日時 平成 30 年 9 月 26 日 (水) 研修会 19:00 ~ 21:00 (受付 18:30 ~)
- 場所 大木記念ホール (山梨県笛吹市石和町四日市場 203)
- テーマ 「ワークライフバランスについて」～セラピストの働き方改革～
- 講師 医療法人鉄蕉会 亀田メディカルセンター
リハビリテーション事業管理部部長 村永 信吾 先生
- 対象者 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、その他関連職種 定員 50 名
- 連絡先 甲州リハビリテーション病院 リハビリテーション部 宮下 大佑 丸茂 高明
〒406-0032 山梨県笛吹市石和町四日市場 2031
TEL: 055-262-3121 FAX: 055-262-3727
E-mail: koshu.pt@krg.ne.jp



第22回山梨県理学療法士会学術集会開催 ならびに託児室開設のお知らせ

特別講演に杏林大学の村松憲先生をお招きし、糖尿病がもたらす、神経・運動器に関する知見について講演を行って頂く予定でいます。また、お子様連れで安心して大会に参加できるよう、会期に合わせ、託児室を開設致します。

- 日 時 平成 31 年 1 月 13 日 (日)
- 会 場 アピオ甲府
- プログラム 特別講演、一般演題、シンポジウムなどを予定しています。
- 大会長 湯村温泉病院 藤田理恵 先生
- 参加申し込み 山梨県理学療法士会のホームページにて11月中旬から
事前参加申し込みを予定しています。
- 託児室開設
申込方法 件名を「託児申し込み」とし、下記必要事項を記入の上、
平成30年12月12日(水)までに E-mail (PC)にてお申し込み下さい。
E-mail 以外での申し込みは下記電話番号にご連絡ください。

必 要 事 項

- ①申込者氏名
- ②所属 (施設名 or 自宅)
- ③連絡先住所、携帯電話番号、E-mail (PC)
- ④お子様の年齢と人数
- ⑤その他、ご要望等

★ 申し込み・問い合わせ先：甲府城南病院
士会学術集会部 宮野 将貴
TEL 055-241-5833 (リハ部直通)
E-mail: shikaigaku jyutu.yamanashi@gmail.com



事務管理局からのお知らせ

◆ 会員情報の変更手続きについて

会員情報（退会、休会、復会、職場の異動、改姓、住所変更、会費納入方法の変更 等）の変更手続きにつきましては、公益社団法人日本理学療法士協会ホームページのマイページからお願いいたします。

マイページにアクセスするには、協会が各個人に発行した ID とパスワードが必要です。

「ID やパスワードがわからない」、「そもそもインターネット環境が無い」という会員の方は、お手数ですが日本理学療法士協会まで問い合わせをお願いします。

（公社）日本理学療法士協会 TEL：03-5414-7911

*会員情報につきましては、（公社）日本理学療法士協会の会員管理システムにて一括管理されているため、士会単位では対応できません。

◆ 会員の慶事及び弔事があった場合

当士会では、会員の慶事及び弔事があった場合、慶弔規定に則り対応させていただきます。

会員の慶事及び弔事があった場合は、当士会 HP の「お問い合わせフォーム」からご連絡頂きますようお願いいたします。

◆ 事務管理局へのお問い合わせについて

山梨県士会 HP の「事務管理局へのお問い合わせ」メールフォームからお願いいたします。

インターネット環境がない会員の方は、

山梨県立あけぼの医療福祉センター 療法科内 担当：有泉

TEL：0551-22-6112（療法科直通）

FAX：0551-22-6184 までお願いします。

◆ 山梨県士会 HP について

一部の内容が古いままなど、ご迷惑をおかけしていますが、随時更新作業を進めています。

トップページの「お知らせ」や「研修会情報」については、常に最新の情報を載せていますので、ぜひアクセスしてみてください。



スポーツ理学療法部員募集中



山梨県理学療法士会では
県内スポーツに貢献するよう
スポーツ理学療法部を設置して国際テニス大会・高校野球県大会や中・高・大学生運動部 13 チームなどに

出向した理学療法活動を行っています。現在、部員 24 名でこれらの大会・チームに協力している所ですが、部員数が足りず新たなチームへの派遣が厳しい現状にあります。また、最近では女子チームから女性 PT の要望も多く、現状では対応困難な状況にあります。

そこで、スポーツに興味がありスポーツの現場で理学療法を提供したいと思っている方は是非スポーツ理学療法部へのご参加をお願いします！特に女性 PT は大歓迎です！

部員として参加いただける方や少しでも興味のある方は、下記連絡先までご連絡ください。また、毎月第 1・3 火曜日 19:00 から山梨大学附属病院リハ室でスポーツ部の勉強会を行っていますので興味のある方は一度参加してみてください。

★ 問い合わせ先：社会局スポーツ理学療法部 小尾 伸二

(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部 TEL：055-273-9805 E-Mail：sobi@yamanashi.ac.jp)

通称「オリ・パラ委員会」より

2020 東京オリンピック・パラリンピックまで 2 年を切りました。日本理学療法士協会では PT がオリンピック・パラリンピックに参入するだけでなく、2020 年以降にもスポーツ理学療法活動を繋げていくことを重視しています。当県士会でも当特別委員会を設置して 2020 東京大会に対応していくことになりました。

全国の中でも山梨は競技スポーツの現場における活動には突出したものがあります。しかし、身障者スポーツに関しては参加する PT や機会が非常に少ない現状にあります。そこで、山梨でも身障者スポーツに多くの PT が参入できる環境を整えていく必要があります。

つきましては、身障者スポーツに関わっている先生や経験をお持ちの先生。また、パラリンピックや身障者スポーツに興味をお持ちの先生のご意見などを伺いたいと思いますので、下記連絡先までご連絡ください。一緒に山梨の身障者スポーツへの関わりを考えて行ければと思います。よろしくお願いします！

★ 問い合わせ先：オリンピック・パラリンピック スポーツ委員会 小尾 伸二

(山梨大学医学部附属病院リハビリテーション部 TEL：055-273-9805 E-Mail：sobi@yamanashi.ac.jp)



／ 途絶えることのないバトンを君に ／

リレーエッセイ

『リレーエッセイ』
とは…

士会員を対象に、身近な出来事・お国自慢・今はまっていること・病院紹介など、何でもよい（ただし、誹謗や中傷の内容は除外します）ので400字程度で執筆していただき掲載していく企画です。

以前の Supporters にあった「会員のひろば」との違いは、会員同士の輪を広げるということで、執筆された方が次の執筆者を決めて、紹介していただくという点です。無理やり書いていただくわけではなく、執筆者同士の繋がりを大切にしていきたいと考えていますので、依頼を受けた方は快く執筆していただけたらと思います。

リレーエッセイ

Part 34-1

石和温泉病院 清水 真治

同期の大竹健太郎先生からバトンを受け取りました石和温泉病院の清水真治です。

10年前の会報部長時代に企画したリレーエッセイが、10年の時を経て私のもとへ帰ってくることになり、感慨深い思いです。

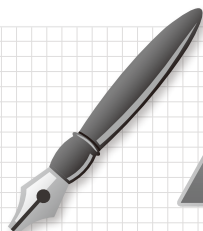
早速ですが、ちまたでは「ゆるキャン△」や「ソロキャン」、「グランピング（手ぶらでキャンプ）」などキャンプや BBQ が流行りです。当病院でもその流れに乗り、PT 室 BBQ 大会を7月某日に開催しました。青空の下、富士山を眺めながら美食を楽しみ、酒を酌み交わす。（私は禁酒中ですが…）自然いっぱいの中で日常の忙しい生活や仕事を少し忘れられ、リフレッシュできます。また、普段ざっくばらんに話をしていない同僚とも語らい、より一層“絆”が深まったと感じています。昨今では、災害が多く人々との繋がり（絆）が大切といわれています。大暑も過ぎ徐々に涼しくなることを祈り、音楽フェスやライブに行き家族との時間も大切に、ワークライフバランスを考え行動したいと思います。一緒にフェスに行ってくれる方ご応募お待ちしております。（嫁オコです…WANIMA か!!）



次のバトンも学生時代の同期、甲州リハビリテーション病院 丸茂 高明先生お願いします。

原稿を募集しています!

会報部では会員の声を少しでも多く取り入れたいと考えております。テーマ等は自由です。



注意

内容の規定はありませんが、個人・団体等の中傷あるいはこれに準ずるものは不可。

1. 研修会・勉強会等の開催案内・報告内容など
2. 各種お知らせ事項など
3. 体験記など
4. その他

※ 第153号発行は、
2019年3月を予定しています。

● 問い合わせ先：広報局 会報部 宇月正明
春日居サイバーナイフ・リハビリ病院
TEL：0553-26-4126 FAX：0553-26-4366
E-mail：kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp

原稿の締め切りは

1月中旬です。

Part 34-2

帝京科学大学 平賀 篤

こんにちは。フルリールむかわの大西健太先生からバトンを頂きました、帝京科学大学の平賀篤と申します。

山梨県理学療法士会に異動して4年目になり、これまで様々な施設の方にお世話になりました。先生方とお話になる際に必ずあるのが、「どちらにお住まいなんですか?」「実は今神奈川県横浜市に住んでいるんですよ。」というやり取り。ご存知の方もいらっしゃると思いますが、今神奈川県に住んでいます。山梨県を裏切ったわけではありません(笑)。帝京科学大学の立地が神奈川県との県境なので十分通勤範囲内ですし、山梨県の養成校なので気持ちは山梨県民です。もっと山梨県のことを知りたいと思っており、最近では県内の裏道や抜け道を探したり、幹線道路にはない素敵なお食事処を開拓することが楽しみになっています。脱山梨県初心者が目標ですので、いい裏道やおすすめのお店がありましたらぜひ教えて下さい。

今回は「赤坂台病院 堀内 聖也先生」にバトンをお渡しします。
どうぞよろしくお願いいたします。



編集後記



7月台風7号及び西日本を中心とした広範囲での記録的な豪雨による被害で、お亡くなりになられた方のご冥福をお祈り申し上げます。また被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

今年度から会報部となり、1期2年、年号をまたいで努めさせていただきます。何分不馴れな編集作業ということもあり、多少の不作法は目をつぶっていただきたく、お願いいたします。

さて平成最後の夏です。山梨は、7月23日に40.3℃、8月10日、11日も2日連続40℃越えでした。連日の猛暑日で私は夏バテと共にありましたが、会員皆様、体調など崩さずお過ごし出来たでしょうか?

今号は士会新体制、新人・転入会員紹介と、盛りだくさんの内容となりました。多くの方々からご協力をいただき発行することができました。感謝申し上げます。

会報誌発行の際も引き続きご協力お願いいたします。

宇月 正明

【発行】 一般社団法人 山梨県理学療法士会

【代表】 小林 伸一

【企画・校正】 宇月 正明 古澤 淳一 進藤 圭一郎 立澤 俊貴 一瀬 智之

【編集・印刷】 株式会社 たけまる

【会報部】 〒406-0014 山梨県笛吹市春日居町国府436

医療法人 景雲会 春日居サイバーナイフ・リハビリ病院

TEL: 0553-26-4126 FAX: 0553-26-4366

E-mail: kaihoushiyamanashipt@yahoo.co.jp

